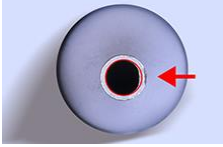


症状	No	主な原因	説明
ノックしても ボールペンリフィル、シャープメカが 出てこない/引っかかる/リリースできない	1	口金変形・磨耗・破損	<p>本体の落下やぶつけるなどの原因により、口金(先端部部品)に衝撃が加わった場合、口金端面部に歪みや破損が生じることがあります。このようになると、ボールペンリフィルやシャープメカの繰り出し/リリース時に、正しく作動しない等の不具合が起こることがあります。多機能ペンは、1本の本体軸の中に複数の筆記具を収容している機構上、僅かな歪みでも不具合が起こることがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。</p> <p>この場合、多機能ペンの口金交換が必要になります。(※1)</p> 
	2	内部パーツの破損	<p>ステッドラーの多機能ペンは、ペンの選択に「振り子式」の構造を採用しており、横にした状態(水平)でペンを選択する構造になっております。ペンを立てた状態や斜めの状態でペンを選択をした場合、振り子がリフィルに定まらずに、リフィルを収容している内部パーツ(仕切部)に当たってしまい、損傷・変形してしまうことがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。</p> <p>この場合は、修理対応になります。</p>
<p>(※1) 多機能ペン「アバンギャルドシリーズ」の口金交換に関して、詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。 (こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします)</p>			

症状	No	主な原因	説明
シャープを選択し、ノックしても シャープ芯が出てこない	1	シャープメカ部での芯詰まり	<p>シャープメカの先金内やチャック部に、短く折れた芯が詰まっている場合、芯の繰り出しを阻害してしまうためノックしても芯が出てこないことがあります。この場合は先金を回して取り外し、先金内やチャック部に詰まった芯を取り除いてください。</p> <p>※シャープメカの先金内部には、“芯を送り出し固定するチャック部が、芯を解放した際に芯の落下を防ぐ”ための、「芯戻り止め」という小さなゴム部品が入っております。 先金内部の芯詰まり除去を行なう際には、この芯戻り止めが外れないようご注意ください。 芯戻り止めが外れてしまうと、芯を保持できなくなるため、ノックすると芯が抜け落ちてしまいます。</p> 
			<p>(1) シャープメカを引きます。</p> <p>(2) シャープメカ先端部を回して取り外します。</p> <p>(3) メカの芯が出てくる部分を天井に向けた状態で、机などに押し付けますと、チャック部がせり上がってきます。この状態で、チャック部先端のリングを指先でそっとひきおろします。</p> <p>(4) チャックが開いた状態になります。</p> 
	2	シャープメカ先金先端部つぶれ	<p>落下等による衝撃が加わった場合等、シャープメカ先金先端部に歪みや潰れが生じることがあります。このようになると、芯の繰り出し動作に不具合が起き、ノックしても芯が出てこない場合があります。</p> <p>この場合は、シャープメカの交換が必要になります。(※1)</p>
	3	芯が入っていない	芯を補充してください。
	4	芯を入れすぎている	芯を入れすぎると、パイプ部の中で芯同士が干渉しあうため動きにくくなり、芯が出てこなくなる場合があります。芯を補充する場合は、本数を1~2本以内に留めてください。
5	芯の太さが合っていない(太い芯を入れている)	所定の太さの芯を入れてください。 (アバンギャルドシリーズには、0.5mm径の芯を入れてください)	
<p>(※1) 多機能ペン「アバンギャルドシリーズ」のシャープメカ交換に関して、詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。 (こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします)</p>			

症状	No	主な原因	説明
シャープを選択し、ノックすると 芯が長く出してしまう (芯が抜け落ちてしまう)	1	芯戻り止めの外れ	<p>シャープメカの先金内部には、“芯を送り出し固定するチャック部が、芯を解放した際に芯の落下を防ぐ”ための、「芯戻り止め」という小さなゴム部品が入っております。</p> <p>芯をペン先端側から補充した場合や、芯詰まり等を取り除く際に、この芯戻り止めが外れてしまう場合があります。このようになると、芯を固定できなくなるため、ノックしても芯が抜け落ちてしまいます。</p> <p>※芯戻り止めが外れた場合、シャープメカ交換が必要となります。(※1) ※芯を補充する際は口金を外しシャープメカを引き抜き、パイプ部の中に芯を1~2本補充した後、シャープメカをパイプ部にしっかりと差し込んでください。</p> 
	2	芯の太さが合っていない(細い芯を入れている)	所定の太さの芯を入れてください。 (アバンギャルドシリーズには、0.5mm径の芯を入れてください)
<p>(※1) 多機能ペン「アバンギャルドシリーズ」のシャープメカ交換に関して、詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。 (こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします)</p>			

症状	No	主な原因	説明
口金が装着できない 口金が外せない	1	ネジ山の潰れ	口金が斜めになったまま締めこむと、本体軸部や口金のネジ山が潰れ、装着できないあるいは外せなくなることがあります。 口金を脱着させる際には、本体軸部と口金のネジを正しく合わせて回してください。

症状	No	主な原因	説明
ボールペンリフィルを差し込んでも 抜けてしまう(ゆるい)	1	パイプ部のヘコミ摩耗	リフィルを差し込むパイプ部には、リフィルの脱落防止用に「ダボ」と呼ばれるヘコミ加工を施しております。 ご使用いただいている間、リフィルの抜き差しにより、この部分が摩耗してくる場合があります。 このようになると、リフィルがしっかりと固定できずに抜け落ちてしまう、あるいは装着がゆるく感じることがあります。 再加工が必要なため、弊社で修理対応として承ります。

症状	No	主な原因	説明
ボールペンが書けなくなった (インクが出ない)	1	インクの寿命	ボールペンのインクには寿命があります。製造後約2年以上経過すると、経年変化でインク中の溶剤が徐々に蒸発してしまい、書けなくなる場合があります。 快適な書き味でお使いいただくために、ご購入後はなるべくお早めにお使い切ってくださいませようお願いいたします。 ※この症状の場合は、リフィルの交換が必要になります。(※1)
	2	インク使いきり	インクを使いきった場合は、書けなくなります。 ※この症状の場合は、リフィルの交換が必要になります。(※2)
	3	上向き筆記による空気巻き込み	ボールペンのペン先を水平より上に向けた状態で筆記した場合、ボールの回転によりペン先から空気を巻き込み、ペン先方向への重力を失いインクが途切れて書けなくなることがあります。(例: カレンダーや手帳に筆記など) ※この症状の場合は、リフィルの交換が必要になります。(※3) ※さらに、この状態でペン先を上に向けたままの状態にした場合、ペン軸尾部よりインクが逆流する恐れがあります。 ※ボールペンは水平より下に向けた状態で筆記してください。
	4	紙粉巻き込みによる目詰まり	筆記時に紙粉(紙の繊維)がペン先に巻き込まれてしまうと、ペン先の目詰まりを起こし、かすれたり書けなくなる場合があります。 紙粉の巻き込みは、筆圧が強い場合や湿気を含んだ紙に書いた時に発生しやすくなります。 ※この症状の場合は、リフィルの交換が必要になります。(※4)
	5	ボールに傷、ペン先端部に傷	ペン先は精密に作られていますので、ペン先でモノを突いたり、落としたり、ぶつかけたりすると、先端に傷がつくことがあります。 このようになると、ボールが均一に回らなくなり、かすれたり、書けなくなる場合がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。 ※この症状の場合は、リフィルの交換が必要になります。(※5)

(※1~5)詳しくは弊社ホームページ「アバンギャルドシリーズ」ページをご確認ください
([こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします](#))

症状	No	主な原因	説明
インクが漏れた	1	上向き筆記	ボールペンのペン先を水平より上に向けた状態で筆記した場合、ボールの回転によりペン先から空気を巻き込み、ペン先方向への重力を失いインクが途切れて書けなくなることがあります。 さらに、この状態でペン先を下向きにせずに保管すると、インクはそれ自身の重みでペン先とは逆方向に流れていくため、ペン軸尾部よりインクが漏れる恐れがあります。 (例: カレンダーや手帳に筆記など) ※ボールペンは水平より下に向けた状態で筆記してください。 ※インク漏れを起こしますと、本体内部の洗浄が必要となります。弊社で修理対応として承ります。(※1)
	2	衝撃や落下等でペン先変形	ペン先は精密に作られていますので、ペン先でモノを突いたり、落としたり、ぶつかけたりすると、先端に傷がつくことがあります。 このようになると、ペン先が変形してボールとボール保持部の隙間が大きくなったり、場合によってはボールが外れ落ちたりしてインク漏れの原因となることがあります。 ※お取り扱いには十分ご注意ください。 ※インク漏れを起こしますと、本体内部の洗浄が必要となります。弊社で修理対応として承ります。(※2)
	3	ペン先を出したまま(押し出されたまま)で、 ペン先が何かに触れた場合	ペン先をしまい忘れたり、カバンなどで持ち運んでいる際にノックが押されるなどして、ペン先が何かに触れた場合、水平向き以上の状態になることがあります。 このようになると上向き筆記と同じ状態となり、インクはペン先方向への重力を失うため、ペン軸尾部からインクが逆流することがあります。 (例: カバンの中でペン先がカバンの生地等に触れてしまった等) ※ボールペンのご使用後は、必ずリリースボタンを押し、リフィルを本体内に収納してください。 ※インク漏れを起こしますと、本体内部の洗浄が必要となります。弊社で修理対応として承ります。(※3)
	4	大きな温度変化が起きた場合	直射日光の当たる場所や自動車の車内など、高温になる場所で保管された場合はインク漏れが発生することがあります。

(※1~3)修理対応に関しましては「お客様相談室」より受け付けております。詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。
([こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします](#))